

園長室だより

こもれび (木漏れ日)

令和 2年 7月 1日

附属幼稚園 第3号

発行者 實藤 浩一

やっとできました…

～入園のお祝い～



本来であれば令和2年4月13日に入園式を実施する予定でしたが、休園等の関係で、全員登園を開始した令和2年6月22日に入園のお祝いと称して実施することができました。本当に長い間お待たせしました。

以下の表のように、クラスごとに4回に分けて分散した形で実施したところです。

学年・クラス	時 間
年中・新入生	9:05～9:20
ぱんだ	10:20～10:35
こあら	11:05～11:20
らっこ	11:50～12:05

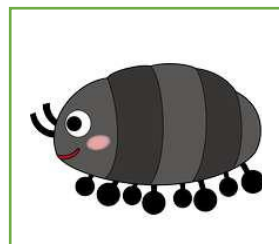
合掌・礼拝に始まり、年少の先生方による「ポンポンポケット」の出し物や保育中のため参加できなかった他の先生方からの動画メッセージもありと短時間の中にも充実したお祝いをすることができました。

最後に、園からクッキーのプレゼントがありました。貰った園児の中には飛び上がって喜ぶ姿も見られ園としても嬉しかったです。

「幼稚園でたくさん遊ぼうね」



「後で」と「先取り」をして いませんか？



毎朝、正門で待っていると、「おはようございます」と気持ちの良い挨拶をしてくれます。とても清々しい気持ちで一日をスタートすることができます。

手指のアルコール消毒をする時に、握りしめた手を広げると、ダンゴムシやセミの抜け殻、砂場で見つけた貝殻、ねこじゃらしやタンポポといった草花など園児にとって興味のある大切なものを握っていることが多くあります。きっと家の方にも持ち帰っているかと思いますが、その時にはそれを材料にたくさんのお話をしてほしいと思います。また、子どもたちは日々の遊びを通して色々な気づきをしています。気付いたら身近な誰かに話したくなります。時間や場所に関係なく伝えようとするので、往々にして忙しい時間帯に話しかけてくることもあります。話したいときに聞いてあげることは大切ですが、どうしても聞けないときは、「後で」ではなくて「〇時になったら（短い針が4にきたら）」と具体的に話せるタイミングを指示しておくことが大切です。

親子の会話の中で
子ども「ママ、お腹～」
母親「あら、お腹が空いたのね。おやつにしようね」

と、子どもが最後まで言わないうちに話を先取りして話していませんか。これを繰り返していると子どもは話さなくても事が進んでいくので、段々と話さなくなります。親は少し待って、子どもに言わせる習慣をつけることも大切です。